

令和三年度学力検査

A
国語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

注意

- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **5** までで、六ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄らんに受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 約束の期日が迫る。
- ② 高い理想を掲げる。
- ③ 皆の前で宣誓する。
- ④ 腕前を披露する。
- ⑤ 説明を図解でおこなう。
- ⑥ よい習慣をやしなう。
- ⑦ たんじゅんな作業をくり返す。
- ⑧ ひょうじゅんの記録を上まわる。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

- (一) 傍線部分①「まさか道端の石を拾っているとは思わなかった」とあるが、この部分は、いくつの文節に分けられるか。次のア～エから最も適当なものの一つを選び、その記号を書きなさい。

- ア、四
- イ、五
- ウ、六
- エ、七

- (二) 傍線部分②「課」の偏を行書で書いたものはどれか。次のア～エから最も適当なものの一つを選び、その記号を書きなさい。

- ア、
- イ、
- ウ、
- エ、

- (三) 傍線部分③「かすかに」の品詞として、次のア～エから最も適当なもの一つを選び、その記号を書きなさい。

- ア、形容詞
- イ、形容動詞
- ウ、連体詞
- エ、副詞

- (四) 次の の中には、僕がくるみとの会話から気づいたことをまとめたものである。 に入る言葉を、本文中から十六字で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

くるみとの会話から、

は楽しいと気づいた。

- (五) 傍線部分④「明日、学校に行ったら、宮多に例のじゃんこなんかというゲームのことを、教えてもらおう」とあるが、僕がこのように考えるようになったのはなぜか。宮多からのメッセージを読んで僕が気づいたことにふれて、本文中の言葉を使って、五十五字以上六十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 波線部分①～④の中には、動詞の活用の種類が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分(1)「昔取った杵柄」とあるが、「昔取った杵柄」は、本文中ではどのような意味を表しているか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、他人の物を利用して自分に役立てること。 イ、若いころに世間にもまれて辛い経験を積むこと。
ウ、かつて習得した技はのちまで使えること。 エ、終わってしまうとその困難を忘れること。

(三) 傍線部分(2)「この問題」とあるが、筆者の述べる「この問題」とは具体的にはどのような問題か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、若オスが工夫をしてピーナッツ取りに成功すると、すぐにおとなメスに見つかって大騒ぎをされてしまうこと。
イ、おとなメスが執拗に丸太の反対側に座り込んでピーナッツが落ちてくるのを待っているために、若オスはピーナッツを食べられないこと。
ウ、おとなメスが穴に口をつけてピーナッツを吸い込む方法を編み出したために、若オスは穴からピーナッツを取ることができないこと。
エ、若オスに追い払われたおとなメスは、穴に細い枝を差し込んでピーナッツを取る経験を重ねることができないこと。

(四) 二重傍線部分「子ども同士は、おとなとは違ってそれほど時間がかからずに技術の伝承が行われていくようです」とあるが、子どもが技術の伝承に時間がかからないのは、おとなと比べて子どもはどのような性質を持っていると筆者は考えているからか。次の [] 中の文の [] に入る言葉を、本文中から二十字以上三十字以内で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

おとなと比べて子どもは、

[]

と考えているから。

(五) この文章の内容に合うものとして、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、チンパンジーの子どもは、群れの中で、親の様子を見てまねをしたり自分で考えたりして、食べ物を取ることができるようになる。
イ、チンパンジーの世界では、親は自分が工夫して取った食べ物を、我が子や我が子と同じくらいの年頃の子どもに食べさせてやる。
ウ、チンパンジーの食べ物を取る方法は、子どもから一部のおとなのオスへと広がり、その後、ほかのおとなたちに広がる。
エ、チンパンジーの食べ物を取る能力は、親から子どもへの手取り足取りの教育で知識と技術を身に付けたときに、確実に発揮される。

(次のページへ) ←

4

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(八点)

後三条院が(注1)藤原実政朝臣が
後三条院、東宮にておはしましける時、学士実政朝臣、任国に赴きけるに、(注2)餞別の名残、惜しませ給ひて、(注3)

州民縦(注3)作(注4)甘棠詠(注5)

莫忘(注6)多年風月遊(注7)

この意は、毛詩にいはく、

孔子曰、甘棠莫伐、召伯之所宿也

といへることなり。

また御歌、

忘れなかつたならば、同じ空の下に居ると思つて、月を見てくれ。
忘れずは同じ空とも月を見よ

遠く離れていて雲居の空まで隔つていても再び雲居の宮中でめぐり会う時まで。
ほどは雲居にめぐりあふまで

君なれども、臣なれども、たがひに志の深く、隔つる思ひのなきは、(注5)朋友にひとしといへり。

(二)新編 日本古典文学全集 十訓抄(注6)による。

* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 東宮 — 皇太子。

(注2) 餞別 — 送別。

(注3) 毛詩 — 中国最古の詩集である『詩経』のこと。

(注4) 召伯 — 善政を行い慕したわれた周の時代の人。召伯の善政を慕い、そのゆかりの甘棠(やまなし)の木を人民が歌に作ったという逸話いっわがある。

(注5) 朋友 — 友人。

(一) 傍線部分①「おはしましける」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

(二) 傍線部分②「惜しませ給ひて」の主語はどれか。次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、後三条院 イ、実政朝臣 ウ、州民 エ、孔子

(三) 傍線部分③「作甘棠詠」を書き下し文にするとどのようになるか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、詠を甘棠の作すとも イ、詠を作すとも甘棠の
ウ、甘棠の詠を作すとも エ、甘棠の作すとも詠を

(四) 次の の中は、後三条院と実政朝臣の関係に対する筆者の感想である。 に入る言葉を、五字以上十字以内の現代語で書きなさい。

主君と臣下の関係にあっても、お互いに思い合う心は深く、心の隔たりがないのは、 といえる。

次【資料1】、【資料2】、【資料3】は、内閣府が実施した「ユニバーサルデザインに関する意識調査」についての結果をまとめたものである。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。(十点)

【資料1】 ユニバーサルデザインの認知度

ユニバーサルデザインという言葉とその意味を知っているか

		知っている／ どちらかといえば知っている	あまり知らない／ 知らない	どちらともいえない
年別	2018年	95.7%	3.0%	1.3%
	2019年	95.8%	3.2%	1.0%
	2020年	94.9%	3.7%	1.4%

ユニバーサルデザインという言葉とその意味を知っているか

		知っている／ どちらかといえば知っている	あまり知らない／ 知らない	どちらともいえない
年別	2018年	58.9%	39.3%	1.8%
	2019年	58.4%	39.7%	1.9%
	2020年	60.1%	37.8%	2.1%
年代別	15～19歳	87.4%	10.0%	2.6%
	20代	77.9%	19.6%	2.5%
	30代	57.5%	39.3%	3.2%
	40代	55.8%	41.2%	3.0%
	50代	54.8%	43.4%	1.8%
	60代	56.2%	42.8%	1.0%
	70代	52.0%	46.9%	1.1%

※ 「年代別」のデータは2020年のもの

【資料2】 公共空間におけるユニバーサルデザインの普及度と必要性(2020年)

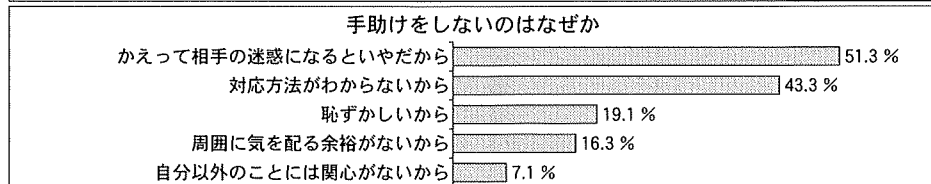
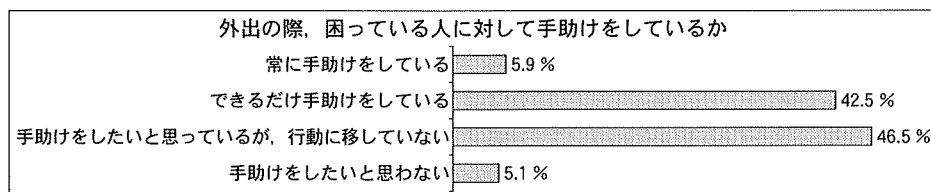
公共空間を利用する際に、どの程度ユニバーサルデザインが進んだと思うか

	十分進んだ／ まあまあ進んだ	あまり進んでいない／ ほとんど進んでいない	どちらとも いえない
歩行空間	21.9%	65.1%	13.0%
公衆トイレ	33.6%	54.2%	12.2%
商店街	9.1%	77.8%	13.1%
都市公園	24.5%	60.7%	14.8%
水辺・海辺の空間	11.8%	72.1%	16.1%
公共の駐車場	19.3%	65.4%	15.3%

今後、特にどの公共空間を重点的にユニバーサルデザインとしていくことが必要だと思うか

		歩行空間	公衆トイレ	商店街	都市公園	水辺・海辺の空間	公共の駐車場
2020年		65.8%	63.3%	26.2%	13.2%	8.8%	22.8%
年代別	15～19歳	54.7%	56.7%	26.0%	20.0%	20.0%	22.7%
	20代	58.7%	60.3%	28.5%	16.7%	9.6%	26.3%
	30代	63.1%	63.4%	26.5%	14.7%	8.6%	23.8%
	40代	65.2%	65.8%	23.4%	11.5%	9.6%	24.6%
	50代	67.1%	63.0%	26.5%	12.0%	6.4%	25.0%
	60代	67.1%	63.7%	27.2%	12.2%	7.9%	21.8%
70代	76.9%	65.3%	26.1%	10.6%	6.1%	15.0%	

【資料3】 困っている人に対する手助けについて(2020年)



※「手助けをしたいと思っているが、行動に移していない」「手助けをしたいと思わない」と答えた人に対する質問

(内閣府「ユニバーサルデザインに関する意識調査」から作成)

(一) 【資料1】から読み取れることを、次の の中の文にまとめた。 ① ③ に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

「バリアフリーという言葉とその意味を知っているか」についての回答は、「知っている／どちらかといえば知っている」と答えた人の割合が、調査したどの年も九割を超えており、多くの人に認知されていることが分かる。

一方で、「ユニバーサルデザインという言葉とその意味を知っているか」の回答においては「知っている／どちらかといえば知っている」と答えた人の割合は、二〇二〇年が最も大きくなっているものの、バリアフリーという言葉と意味を知っていると答えた人の割合と比較すると、その割合は大きくはない。

また、 ① に見ると、 ② よりも ③ の方が、ユニバーサルデザインという言葉とその意味を知っている人の割合が大きい傾向にある。

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ア、① 年別 | ② 二十代以下 | ③ 三十代以上 | イ、① 年別 | ② 三十代以上 | ③ 二十代以下 |
| ウ、① 年代別 | ② 二十代以下 | ③ 三十代以上 | エ、① 年代別 | ② 三十代以上 | ③ 二十代以下 |

(二) 【資料2】から読み取れることについて、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、「公衆トイレ」のユニバーサルデザインが最も進んだと考えられており、各年代ごとにも、今後、ユニバーサルデザインの必要性が高いと考える公共空間として、「公衆トイレ」を挙げる人の割合が最も大きい。

イ、今後、「水辺・海辺の空間」のユニバーサルデザインの必要性が高いと考える人の割合は、全体では一桁台であるが、各年代ごとに比較してみると、二十歳未満では、「水辺・海辺の空間」のユニバーサルデザインの必要性が高いと考える人の割合は二桁台となっている。

ウ、今後、「商店街」をユニバーサルデザインとしていく必要性が高いと考える人の割合は三番目に大きく、また、「商店街」のユニバーサルデザインが進んだと考える人の割合も三番目に大きくなっている。

エ、今後、「公共の駐車場」のユニバーサルデザインの必要性が高いと考える人の割合は、年齢が上がるにつれ大きくなっており、同じように、ユニバーサルデザインの必要性が高いと考える人の割合が、年齢が上がるほど大きくなる傾向は、「歩行空間」にも当てはまる。

(三) 中学生のひかりさんは、【資料3】を見て、困っている人に対して手助けをする人の割合を増やすための方法について、あなたの考えを、あとの「作文の注意」にしたがって書きなさい。困っている人に対して、積極的に手助けをする人を増やすための方法について、あなたの考えを、あとの「作文の注意」にしたがって書きなさい。

「作文の注意」

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 【資料3】の「手助けをしないのはなぜか」のグラフも参考にして、あなたが考える理由を明らかにし、具体的に書きなさい。
- ③ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。